

(1) 国際交流協定の締結

2023年8月10日、大分大学は、タイ王国プリンス・オブ・ソンクララー大学（以下 PSU）との大学間交流協定を締結しました。

医師育成と発展のため、本学医学部消化器・小児外科学講座において、2022年11月から6か月間、外国人客員研究員として PSU 医師の受入研修を実施したことを契機とし、今後相互に協力を行うことで意見が一致したため、今回の協定締結に至りました。

協定締結式は、北野正剛学長の PSU 訪問時に行われ、医学部及び医学部附属病院であるソンクララーナカリン病院の視察や、PSU 主催のパネルセッションでの講演も行いました。今後は、本学と PSU との間でさらに連携を進め、学術交流・学生交流を行う予定です。

オフィス開設以来、マヒドン大学、タマサート大学、マハーサーラカム大学、プリンス・オブ・ソンクララー大学の4大学と新たに協定を結ぶに至り、本学とタイの教育研究機関等との間で締結する交流協定は9件となりました。今後これらとの交流協定に基づいた学生・研究者交流が期待されます。

<参考>

プリンス・オブ・ソンクララー大学は、タイ南部地域をリードする大学になることを目的に、タイ南部で最初の大学として1967年に設立された、タイ国内で9つ認定されている研究型国立大学の1つである。南部の都市・ハジャイにメインキャンパスを置き、その他4つのキャンパスを含め、医学部、経済学部、工学部、芸術学部など多岐にわたる分野に全30学部を有する。



協定締結式



パネルセッション参加者との集合写真

【本学とタイの国際交流協定一覧 (R5. 9. 28 現在)】

大学名	締結年月日
チェンマイ大学	2002. 8. 15
コンケン大学	2006. 3. 8
チュラロンコン大学医学部 (医学部との学部間協定)	2009. 11. 10
ラチャウィティ病院	2015. 1. 7
マヒドン大学	2015. 8. 24
チュラロンコン大学理学部 (医学部との学部間協定)	2019. 10. 2
タマサート大学	2019. 11. 11
マハーサーラカム大学	2022. 11. 21
プリンス・オブ・ソンクララー大学	2023. 8. 10

なお、本学が交流協定を結ぶ海外の教育研究等機関は現在、31の国・地域、102機関となります。

■大分大学の国際交流協定一覧：<https://www.oita-u.ac.jp/category/koryukyotei.html>

(2) さくらサイエンスプログラム

【目的・内容】

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の公募事業「さくらサイエンスプログラム」の採択を受け、タイ王国の医学部進学者が多い理系の高校（マヒドンウィッタヤヌソンスクール、プリンセスチュラポンスクール）から生徒13名と教員1名を招へいます。

本事業は、産学官の緊密な連携により、アジアを中心とする地域から優秀な青少年を日本に短期に招へいし、未来を担う青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目指すものです。

【特色・特徴等】

本学は、本事業がスタートした平成26年度から継続して採択(10年連続)されており、今年度で9回目の実施です。滞在中は、附属病院見学、本学教員の指導による手術手技（縫合）実習、医学セミナーなどを通して、日本の高い科学技術に触れてもらいます。

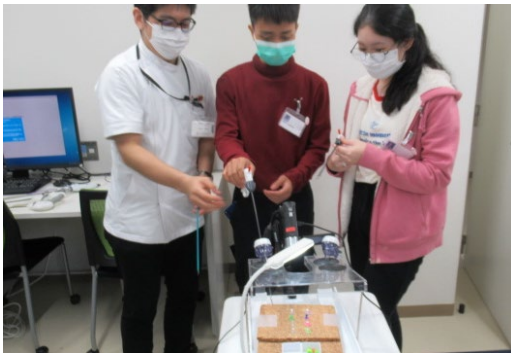
【滞在期間】 令和5年11月6日（月）～11月12日（日）

【実施場所】 大分大学医学部（挾間キャンパス）等

【主なスケジュール】

- 11月7日（火）9：00～ 医学部歓迎行事、附属病院見学
14：00～ 消化器外科講座、外科糸結び、腸管縫合体験
- 8日（水）9：00～ 医学セミナー
13：30～ 研究者との交流会
- 11月9日（木）終日 大分県立大分舞鶴高等学校訪問
- 10日（金）終日 企業訪問・日本文化体験
- 11日（土）終日 大分県立大分舞鶴高等学校との交流会

【参考URL】 さくらサイエンスプログラム：<http://ssp.jst.go.jp/>



昨年のプログラムの様子

(3) 学生交流

医学部を中心に、大学院生の受け入れ、シリラート病院、マハーサーラカム大学からの短期留学生の受け入れ、大分大学学生の派遣を行っています。



シリラート病院からの医学生受け入れの様子（2023.4.4～5.9）

(4) 医療人育成支援

北野学長が理事長を務めるアジア医療教育研修支援機構(Asian Medical Education and Training Support, AMETS)の設立に関与し、メコン内視鏡外科推進機構(Mekong Endo-surgery Development Association, MESDA)等の活動を通して、正しい知識と技術に基づいた安全な医療技術を持った人材育成への協力を行っています。



MESDA での内視鏡外科手術指導の様子
(2017. 9. 18～9. 19)

(5) 日本式医療の海外展開サポート

日本が世界に誇る内視鏡技術などの高度な医療技術をアジア地域に普及させるための事業をサポートするとともに、東九州メディカルバレー構想を通じて地場企業のタイ進出のサポートを行っています。



大分県商工観光労働部、(株)エイビス社長の
バンコクオフィス訪問 (2023. 2. 9)

(6) 地域との連携

大分県、大分市との連携では、昨今のタイから九州への訪日需要の高まりを受けたインバウンド強化へのアドバイスや、タイの現況の情報共有等、これまでのバンコクオフィスの活動で得た知見を広くフィードバックし施策に活用して頂いています。

このように、活動の幅を広げる大分大学バンコクオフィスは、大分大学のタイの拠点としてその重要性を増しております。

大分大学バンコクオフィスの活動は、
右のQRコードよりご覧いただけます。

<https://www.oita-u.ac.jp/09kokusai/kaigaijimusyo.html>

